

科目名	CPM Ensemble Style&Analysis(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	クリス・ ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	18歳でロックバンド、ストライカーの一員として全米ツアーを展開。Jeff Beckのトリビュートアルバムへの参加やmiwaのサポートなど幅広く活躍し、世界的に高い評価を受けている。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→③FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシヤンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		演習	Bluesのアンサンブル第1週目。1 2 小節ブルースソング2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
2		演習	Bluesのアンサンブル第2週目。1 2 小節ブルースソング2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
3		演習	Bluesのアンサンブル第3週目。8小節ブルースソング2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
4		演習	Bluesのアンサンブル第4週目。マイナーブルース2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
5		演習	Bluesのアンサンブル第5週目。スローブルース2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習	
6		演習・試験	Bluesのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。	
7		演習	Soulのアンサンブル第1週目。簡単なSoulナンバーStand By Meのアンサンブルと次回曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
8		演習	Soulのアンサンブル第2週目。SoulナンバーUnit2課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
9		演習	Soulのアンサンブル第3週目。SoulナンバーUnit3課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
10		演習	Soulのアンサンブル第4週目。SoulナンバーUnit4課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
11		演習	Soulのアンサンブル第5週目。SoulナンバーUnit5のアナライズ。発表会担当曲決め。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習	
12		演習・試験	Soulのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。	
13		演習	次回Rockアンサンブルに向けた課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	CPM Ensemble Style&Analysis (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	クリス・ ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	18歳でロックバンド、ストライカーの一員として全米ツアーを展開。Jeff Beckのトリビュートアルバムへの参加やmiwaのサポートなど幅広く活躍し、世界的に高い評価を受けている。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→④FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	Rockのアンサンブル第1週目。50年代Rock2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
2		演習	Rockのアンサンブル第1週目。60年代Rock2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
3		演習	Rockのアンサンブル第1週目。70年代Rock2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
4		演習	Rockのアンサンブル第1週目。80年代Rock2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
5		演習	Rockのアンサンブル第1週目。90年代Rock2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
6		演習・試験	Rockのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
7		演習	Funkのアンサンブル第1週目。簡単なFunk Tune (Unit1)のアンサンブルと次回曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
8		演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit2課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
9		演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit3課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
10		演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit4課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
11		演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit5課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
12		演習・試験	Funkのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
13		演習	1年間で学んだ楽曲でセッションを行う。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	CPM Ensemble(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	クリス・ ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	18歳でロックバンド、ストライカーの一員として全米ツアーを展開。Jeff Beckのトリビュートアルバムへの参加やmiwaのサポートなど幅広く活躍し、世界的に高い評価を受けている。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→④FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシヤンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	Bluesのアンサンブル第1週目。12小節ブルースソング2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
2		演習	Bluesのアンサンブル第2週目。12小節ブルースソング2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
3		演習	Bluesのアンサンブル第3週目。8小節ブルースソング2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
4		演習	Bluesのアンサンブル第4週目。マイナーブルース2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
5		演習	Bluesのアンサンブル第5週目。スローブルース2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
6		演習・試験	Bluesのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
7		演習	Soulのアンサンブル第1週目。簡単なSoulナンバーStand By Meのアンサンブルと次回曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
8		演習	Soulのアンサンブル第2週目。SoulナンバーUnit2課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
9		演習	Soulのアンサンブル第3週目。SoulナンバーUnit3課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
10		演習	Soulのアンサンブル第4週目。SoulナンバーUnit4課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
11		演習	Soulのアンサンブル第5週目。SoulナンバーUnit5のアンサンブル。発表会担当曲決め。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
12		演習・試験	Soulのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
13		演習	次回Rockアンサンブルに向けた課題曲のシンプルな曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	CPM Ensemble (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	クリス・ ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	18歳でロックバンド、ストライカーの一員として全米ツアーを展開。Jeff Beckのトリビュートアルバムへの参加やmiwaのサポートなど幅広く活躍し、世界的に高い評価を受けている。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→③FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシヤンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	Rockのアンサンブル第1週目。50年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
2		演習	Rockのアンサンブル第2週目。60年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
3		演習	Rockのアンサンブル第3週目。70年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
4		演習	Rockのアンサンブル第4週目。80年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
5		演習	Rockのアンサンブル第5週目。90年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
6		演習・試験	Rockのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
7		演習	Funkのアンサンブル第1週目。簡単なFunk Tune (Unit1)のアンサンブルと次回曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
8		演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit2課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
9		演習	Funkのアンサンブル第3週目。Funk Tune Unit3課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
10		演習	Funkのアンサンブル第4週目。Funk Tune Unit4課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
11		演習	Funkのアンサンブル第5週目。Funk Tune Unit5課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
12		演習・試験	Funkのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
13		演習	1年間で学んだ楽曲でセッションを行う。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	CPM Ensemble Style&Analysis(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	クリス・ ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	18歳でロックバンド、ストライカーの一員として全米ツアーを展開。Jeff Beckのトリビュートアルバムへの参加やmiwaのサポートなど幅広く活躍し、世界的に高い評価を受けている。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→③FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		演習	Bluesのアンサンブル第1週目。1 2 小節ブルースソング2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
2		演習	Bluesのアンサンブル第2週目。1 2 小節ブルースソング2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
3		演習	Bluesのアンサンブル第3週目。8小節ブルースソング2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
4		演習	Bluesのアンサンブル第4週目。マイナーブルース2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
5		演習	Bluesのアンサンブル第5週目。スローブルース2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習	
6		演習・試験	Bluesのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。	
7		演習	Soulのアンサンブル第1週目。簡単なSoulナンバーStand By Meのアンサンブルと次回曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
8		演習	Soulのアンサンブル第2週目。SoulナンバーUnit2課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
9		演習	Soulのアンサンブル第3週目。SoulナンバーUnit3課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
10		演習	Soulのアンサンブル第4週目。SoulナンバーUnit4課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
11		演習	Soulのアンサンブル第5週目。SoulナンバーUnit5のアナライズ。発表会担当曲決め。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習	
12		演習・試験	Soulのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。	
13		演習	次回Rockアンサンブルに向けた課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	CPM Ensemble Style&Analysis (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	クリス・ ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	18歳でロックバンド、ストライカーの一員として全米ツアーを展開。Jeff Beckのトリビュートアルバムへの参加やmiwaのサポートなど幅広く活躍し、世界的に高い評価を受けている。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→④FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシヤンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		演習	Rockのアンサンブル第1週目。50年代Rock2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
2		演習	Rockのアンサンブル第1週目。60年代Rock2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
3		演習	Rockのアンサンブル第1週目。70年代Rock2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
4		演習	Rockのアンサンブル第1週目。80年代Rock2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
5		演習	Rockのアンサンブル第1週目。90年代Rock2曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習	
6		演習・試験	Rockのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。	
7		演習	Funkのアンサンブル第1週目。簡単なFunk Tune (Unit1)のアンサンブルと次回曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
8		演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit2課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
9		演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit3課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
10		演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit4課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
11		演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit5課題曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習	
12		演習・試験	Funkのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。	
13		演習	1年間で学んだ楽曲でセッションを行う。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	CPM Ensemble(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	クリス・ ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	18歳でロックバンド、ストライカーの一員として全米ツアーを展開。Jeff Beckのトリビュートアルバムへの参加やmiwaのサポートなど幅広く活躍し、世界的に高い評価を受けている。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→④FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシヤンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		演習	Bluesのアンサンブル第1週目。12小節ブルースソング2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
2		演習	Bluesのアンサンブル第2週目。12小節ブルースソング2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
3		演習	Bluesのアンサンブル第3週目。8小節ブルースソング2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
4		演習	Bluesのアンサンブル第4週目。マイナーブルース2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
5		演習	Bluesのアンサンブル第5週目。スローブルース2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習	
6		演習・試験	Bluesのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。	
7		演習	Soulのアンサンブル第1週目。簡単なSoulナンバーStand By Meのアンサンブルと次回曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
8		演習	Soulのアンサンブル第2週目。SoulナンバーUnit2課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
9		演習	Soulのアンサンブル第3週目。SoulナンバーUnit3課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
10		演習	Soulのアンサンブル第4週目。SoulナンバーUnit4課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
11		演習	Soulのアンサンブル第5週目。SoulナンバーUnit5のアンサンブル。発表会担当曲決め。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習	
12		演習・試験	Soulのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。	
13		演習	次回Rockアンサンブルに向けた課題曲のシンプルな曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習	
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	CPM Ensemble (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	クリス・ ジャーガン セン
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	18歳でロックバンド、ストライカーの一員として全米ツアーを展開。Jeff Beckのトリビュートアルバムへの参加やmiwaのサポートなど幅広く活躍し、世界的に高い評価を受けている。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→④FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	Rockのアンサンブル第1週目。50年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
2		演習	Rockのアンサンブル第2週目。60年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
3		演習	Rockのアンサンブル第3週目。70年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
4		演習	Rockのアンサンブル第4週目。80年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
5		演習	Rockのアンサンブル第5週目。90年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
6		演習・試験	Rockのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
7		演習	Funkのアンサンブル第1週目。簡単なFunk Tune (Unit1)のアンサンブルと次回曲のアナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
8		演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit2課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
9		演習	Funkのアンサンブル第3週目。Funk Tune Unit3課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
10		演習	Funkのアンサンブル第4週目。Funk Tune Unit4課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
11		演習	Funkのアンサンブル第5週目。Funk Tune Unit5課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
12		演習・試験	Funkのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
13		演習	1年間で学んだ楽曲でセッションを行う。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	タレントマネジメント (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	片桐豊
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	大手芸能事務所トップコートで長年にわたり新人発掘を担当したスペシャリストで俳優・松坂桃李などを発掘。						
授業の学習 内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人で有り、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めたい。						
到達目標	☐タレントとマネージャー（事務所）の関係や仕事の内容など業界のことを知る ☐自分の強み、弱みを認識した上で将来について考えられるようになる ☐見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養う ☐自分の考えたことや想いを自分の言葉で伝えられるようになる ☐相手の気持ちやニーズを考えられるようになる						
評価方法と基準	☐筆記試験 0点～50点 …一般的な企業の人事評定項目の把握とその定義や着眼点について理解する。 （企業が従業員に求めることへの理解＝社会に出て働くための心構え準備） ☐総合的な授業態度 0点～50点 …出席率（目的を持って授業に出席する。気分で休まない。） …授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義	自己紹介現時点での将来目標を自分の言葉で、かつ人前で発表できる。	将来タレントをどのようにマネジメントしたいのかレポート記入し提出。	
2		講義	業界で働く上で必要な力を考えさせる自分で考える。想像力を養う。	自分の目標の整理を行い800字以内で記入し提出。	
3		講義	プロデューサーやディレクター、作家などの役割や感性を学ぶ。	1枚の紙で「天国」と「地獄」を表現し提出。	
4		講義	芸能プロダクションの役割とタレントとの関係性について学ぶ。	タレント契約書見本（専属・業務提携・新人養成）を確認し、気づいた点やこれからの課題を800字以内に記載し提出。	
5		講義	マネージャーの種類と具体的な仕事内容を知る。	自分の好きなタレントの周りのマネージャーを調べて資料を提出。	
6		講義	好きなモノを語る力を付ける。好きなタレントについて語ることができる。	3分間で好きなタレントを理由・魅力などを他者にアピールするプレゼンテーションの資料を作成、準備する。	
7		講義	音事協・音制連等の存在と事務所にはどんなところがあるか知る。	自分が就職したい事務所を調べて概要を提出する。	
8		講義	オーディション採用側が何を見ているかを知る。	自分が就職したい事務所のスタッフ募集要項を調べて提出する。	
9		講義	適正診断による性格把握と分析から自分の強み・弱みを把握する。	事前に配布する適性診断を受ける	
10		講義	自己分析を踏まえ未来像を語り想像する力と伝える力を身につける。	10年後どうなっていたいか、所定のレポート用紙に記入し提出。	
11		講義	興味外の事を語り、感じたことを言葉にする力を身につける。	美輪明宏「愛の讃歌」の映像を見て感想を800字以内で記入し提出。	
12		講義	人事評定項目から経営側のニーズを知る。	人事評定項目から自分がアピール出来ることを考察し800字以内で提出。	
13		試験	人事評定の項目とその意味をきちんと理解・認識できているか。復習	前週に配布した人事評定表を復習しておく。	
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】					
実際のタレント契約書・芸能界ベストセクション・演技テキスト・ドラマ台本など					

科目名	アーティストマネジメント (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	片桐豊
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大手芸能事務所トップコートで長年にわたり新人発掘を担当したスペシャリストで俳優・松坂桃李などを発掘。						
授業の学習 内容	「アーティストとマネージャの関係」はケースバイケースです。お互いのキャラクターやクリエイティヴの方向性によって変わります。しかし、どのケースでも共通して言えるのは「マネージャーはアーティストにとって一番近い存在であり大事なパートナー。アーティストの運命を左右する一番身近なプロデューサーである。」ということです。それではマネージャーの実際の仕事内容とは？それを感じ、マネージャーの仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶことがこの授業の目的です。学生の皆さんがそれぞれの価値観、感覚で「マネージャーの仕事」を感じ取り、学生の皆さんの将来の夢を叶える土台作りをします。今後マネージャー以外にもなりたい職業が見つかる方もいらっしゃるでしょう。マネージャーの仕事、音楽業界の仕事以外に広くエンタメビジネス全般についても学生の皆さんと一緒に考えて行きます。そして、サブスク、AIなど数多くの新たなエンタメツールが生まれている現在、音楽業界は大きな転換期にあります。過去に囚われないこれからの音楽ビジネスの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	①「マネージャー」の仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶ ②それぞれのキャラクターを大事にしたコミュニケーション能力のスキルアップ ③それぞれのキャラクターを大事にしたクリエイティビティーのスキルアップ ④マネージャーとして必要なマネタイズ(権利周り)の知識を習得						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 ・・・出席率 ・・・能動的なアティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	オリエンテーション	プレゼンシミュレーション
2		講義	マネージャーってどんな仕事？-1	プレゼンシミュレーション
3		講義	マネージャーってどんな仕事？-2	プレゼンシミュレーション
4		講義	マネージャー以外にどんな仕事があるの？	プレゼンシミュレーション
5		講義	SNSビジネスの現在	プレゼンシミュレーション
6		講義	ネットビジネスの現在	プレゼンシミュレーション
7		講義	ライブ配信の現在	プレゼンシミュレーション
8		講義	アーティスト紙資料を作ってみよう	プレゼンシミュレーション
9		講義	アーティストの宣伝プランを考えてみよう	プレゼンシミュレーション
10		講義	CDやダウンロードやサブスクでいくら儲かるの？-1 (著作権ビジネス)	プレゼンシミュレーション
11		講義	CDやダウンロードやサブスクでいくら儲かるの？-2 (著作権ビジネス)	プレゼンシミュレーション
12		講義	作詞カリキュラム	プレゼンシミュレーション
13		講義	作詞カリキュラム	プレゼンシミュレーション
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アーティストマネジメント (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	片桐豊
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大手芸能事務所トップコートで長年にわたり新人発掘を担当したスペシャリストで俳優・松坂桃李などを発掘。						
授業の学習 内容	「アーティストとマネージャの関係」はケースバイケースです。お互いのキャラクターやクリエイティヴの方向性によって変わります。しかし、どのケースでも共通して言えるのは「マネージャはアーティストにとって一番近い存在であり大事なパートナー。アーティストの運命を左右する一番身近なプロデューサーである。」ということです。それではマネージャの実際の仕事内容とは？それを感じ、マネージャの仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶことがこの授業の目的です。学生の皆さんがそれぞれの価値観、感覚で「マネージャの仕事」を感じ取り、学生の皆さんの将来の夢を叶える土台作りをします。今後マネージャ以外にもなりたい職業が見つかる方もいらっしゃるでしょう。マネージャの仕事、音楽業界の仕事以外に広くエンタメビジネス全般についても学生の皆さんと一緒に考えて行きます。そして、サブスク、AIなど数多くの新たなエンタメツールが生まれている現在、音楽業界は大きな転換期にあります。過去に囚われないこれからの音楽ビジネスの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	①「マネージャ」の仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶ ②それぞれのキャラクターを大事にしたコミュニケーション能力のスキルアップ ③それぞれのキャラクターを大事にしたクリエイティビティーのスキルアップ ④マネージャとして必要なマナタイズ(権利周り)の知識を習得						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 ・・・出席率 ・・・能動的なアティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	どうしてアーティスト名やマークって世界にひとつだけなの？(登録商標)	プレゼンシミュレーション
2		講義	実際の仕事の進み方(RECORDING・ジャケット制作編)	プレゼンシミュレーション
3		講義	実際の仕事の進み方(プロモーション編)	プレゼンシミュレーション
4		講義	マナー講座	プレゼンシミュレーション
5		講義	ファンクラブビジネス	プレゼンシミュレーション
6		講義	物販ビジネス	プレゼンシミュレーション
7		講義	俳優事務所の仕事内容	プレゼンシミュレーション
8		講義	出演料の計算方法	プレゼンシミュレーション
9		講義	有料広告	プレゼンシミュレーション
10		講義	ライブ制作	プレゼンシミュレーション
11		講義	新人発掘	プレゼンシミュレーション
12		講義	ゲスト講師	プレゼンシミュレーション
13		講義	今後のエンタメビジネス	プレゼンシミュレーション
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	タレントマネジメント (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	片桐豊
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大手芸能事務所トップコートで長年にわたり新人発掘を担当したスペシャリストで俳優・松坂桃李などを発掘。						
授業の学習 内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人で有り、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めたい。						
到達目標	☐タレントとマネージャー（事務所）の関係や仕事の内容など業界のことを知る ☐自分の強み、弱みを認識した上で将来について考えられるようになる ☐見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養う ☐自分の考えたことや想いを自分の言葉で伝えられるようになる ☐相手の気持ちやニーズを考えられるようになる						
評価方法と基準	☐筆記試験 0点～50点 …一般的な企業の人事評定項目の把握とその定義や着眼点について理解する。 (企業が従業員に求めることへの理解＝社会に出て働くための心構え準備) ☐総合的な授業態度 0点～50点 …出席率(目的を持って授業に出席する。気分で休まない。) …授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義	自己紹介現時点での将来目標を自分の言葉で、かつ人前で発表できる。	将来タレントをどのようにマネジメントしたいのかレポート記入し提出。	
2		講義	業界で働く上で必要な力を考えさせる自分で考える。想像力を養う。	自分の目標の整理を行い800字以内で記入し提出。	
3		講義	プロデューサーやディレクター、作家などの役割や感性を学ぶ。	1枚の紙で「天国」と「地獄」を表現し提出。	
4		講義	芸能プロダクションの役割とタレントとの関係性について学ぶ。	タレント契約書見本（専属・業務提携・新人養成）を確認し、気づいた点やこれからの課題を800字以内に記載し提出。	
5		講義	マネージャーの種類と具体的な仕事内容を知る。	自分の好きなタレントの周りのマネージャーを調べて資料を提出。	
6		講義	好きなモノを語る力を付ける。好きなタレントについて語ることができる。	3分間で好きなタレントを理由・魅力などを他者にアピールするプレゼンテーションの資料を作成、準備する。	
7		講義	音事協・音制連等の存在と事務所にはどんなところがあるか知る。	自分が就職したい事務所を調べて概要を提出する。	
8		講義	オーディション採用側が何を見ているかを知る。	自分が就職したい事務所のスタッフ募集要項を調べて提出する。	
9		講義	適正診断による性格把握と分析から自分の強み・弱みを把握する。	事前に配布する適性診断を受ける	
10		講義	自己分析を踏まえ未来像を語り想像する力と伝える力を身につける。	10年後どうなっていたいか、所定のレポート用紙に記入し提出。	
11		講義	興味外の事を語り、感じたことを言葉にする力を身につける。	美輪明宏「愛の讃歌」の映像を見て感想を800字以内で記入し提出。	
12		講義	人事評定項目から経営側のニーズを知る。	人事評定項目から自分がアピール出来ることを考察し800字以内で提出。	
13		試験	人事評定の項目とその意味をきちんと理解・認識できているか。復習	前週に配布した人事評定表を復習しておく。	
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】					
実際のタレント契約書・芸能界ベストセクション・演技テキスト・ドラマ台本など					

科目名	タレントマネジメント (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	片桐豊
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大手芸能事務所トップコートで長年にわたり新人発掘を担当したスペシャリストで俳優・松坂桃李などを発掘。						
授業の学習 内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人であり、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めたい。						
到達目標	☐タレントとマネージャー（事務所）の関係や仕事の内容など業界のことを知る ☐自分の強み、弱みを認識した上で将来について考えられるようになる ☐見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養う ☐自分の考えたことや想いを自分の言葉で伝えられるようになる ☐相手の気持ちやニーズを考えられるようになる						
評価方法と基準	☐筆記試験 0点～50点 …一般的な企業の人事評価項目の把握とその定義や着眼点について理解する。 (企業が従業員に求めることへの理解＝社会に出て働くための心構え準備) ☐総合的な授業態度 0点～50点 …出席率(目的を持って授業に出席する。気分で休まない。) …授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	活躍している芸能人の行動から学ぶ社会で好まれる資質を知る①	松坂桃李・堺正人・山寺宏一らのエピソードを受けて感想レポートを800字以内で提出する。
2		講義	活躍している芸能人の行動から学ぶ社会で好まれる資質を知る②	TAKAHIRO氏のチャレンジのエピソードを受けての感想レポートを800字以内で提出する。
3		講義	俳優の仕事や気持ちを理解するため簡単なテキストで演技体験をする	事前に配布するA4 1 枚の会話台本を覚えてくる。
4		講義	同じセリフを深く追求することでタレントや俳優に求められる役割を知る。	事前に配布する独白セリフの登場人物の性格を分析した資料を提出する。
5		講義	企業のニーズを理解した上で、目指す企業に合わせた自己PRができるようになる	就活を想定した自己PRを考察し、提出する。
6		講義	企業のニーズを理解した上で、目指す企業に合わせた自己PRができるようになる	就活を想定した自己PRを考えて提出する。
7		講義	ファンクラブについての講義①	自分な好きなタレントらのファンイベントの例を調べて提出する。
8		講義	ファンイベントの企画を理解する ファンクラブについての講義②	自分の好きなタレントらのグッズの例を調べて提出する。
9		講義	応援グッズ販売から見る音楽ビジネス	
9		講義	芸能界お金事情 タレントのギャラ・Mgの給与などの相場を知る	本日の授業を終えた上で、タレントクラス表を作成し、提出する。
10		講義	これから売れる（人気者になる）と思うタレントを予想・プレゼンする①	これから売れると思うタレント候補とその根拠を調べて提出する。
11		講義	これから売れる（人気者になる）と思うタレントを予想・プレゼンする①	これから売れると思うタレント候補とその根拠を調べて提出する。
12		講義	とあるディズニーダンサーのエピソードから、エンターテインメント業界で働くことの心構えを再認識	本日の講義を終え、800字以内で感想レポートを提出する。
13		試験	前期・後期を踏まえた上での筆記試験を実施	出来なかった部分や分からなかった部分を訂正して提出する。
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
実際のタレント契約書・芸能界ベストセレクション・演技テキスト・ドラマ台本など				

科目名	イベントプロデュース (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大手イベントのキョードーからライブ、コンサート制作の道に入り、テレビ番組関連のイベントも担当。 TOKYO IDOL FESTIVAL等の大型ライブイベント、「めざましライブ」「Mステスーパーライブ」や斉藤和義ら国内外アーティストのツアー制作。2014夏のお台場新大陸も担当。						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※レポート課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	はじめに ～ 企画って何？	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
2		講義	企画は誰の為 を理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
3		講義	会場について理解する	全国のホールを調査する
4		講義	5 W1Hを理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
5		講義	イベント本番の時間的流れを理解する	モデルタイムテーブルの作成し提出
6		講義	メディアとプロモーションを理解する	メディアネットアークの調査
7		講義	ホームページとSNSを理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
8		講義	マーケットについて知る	シンクタンクのレポートを確認する
9		講義	売れてる？ヒットチャートを理解する	ヒットチャート調査のリスト化
10		講義	スタッフについて知る	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
11		講義	集客するには（入場券とプレイガイド）を理解する	プレイガイドを研究しまとめたものを提出
12		講義	イベントのビジネスモデルを知る	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
13		講義	企画立案しプレゼンする	アーティスト活動調査
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT				

科目名	イベントプロデュース (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大手イベントのキョードーからライブ、コンサート制作の道に入り、テレビ番組関連のイベントも担当。 TOKYO IDOL FESTIVAL等の大型ライブイベント、「めざましライブ」「Mステスーパーライブ」や斉藤和義ら国内外アーティストのツアー制作。2014夏のお台場新大陸も担当。						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※レポート課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	企画項目を整理する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
2		講義	企画書作成の準備をする・ 1	アーティストを調査しレポートとして提出
3		講義	企画書作成の準備をする・ 2	夏フェスティバルを調査しレポートとして提出
4		講義	実在のイベントをモデルに企画書化する・ 1	イベントを調査しレポートとして提出
5		講義	実在のイベントをモデルに企画書化する・ 2	モデルタイムテーブルの作成
6		講義	会場設備理論（全国の会場を分析する）ホール編	全国のホールを調査してレポートとして提出
7		講義	会場設備理論（全国の会場を分析する）ライブハウス編	全国のライブハウスを調査してレポートとして提出
8		講義	会場設備理論（全国の会場を分析する）アリーナスタジアム編	全国のアリーナスタジアムを調査してレポートとして提出
9		講義	イベント企画の研究	オリンピックについて調査してレポートとして提出
10		講義	イベントと法規	消防申請について調査しレポートとして提出
11		講義	単体イベントとツアー	クリスマスツアーを調査しレポートとして提出
12		講義	ツアーの企画を立案する	交通インフラを調査してレポートとして提出する
13		講義	イベントのスタイルとビジネスモデル	ACPCの資料を検証しレポートとして提出
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT				

科目名	ファンクラブビジネス (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	これまで数多くのアーティストマネージャーを務め、様々な現場でプロデューサー、舞台監督、デザイナーとして活躍するいくつもの顔を持っているマルチ業界人。						
授業の学習 内容	ファンクラブ、音楽業界の基礎知識を学び、実習を通して即戦力となる人材育成を行うカリキュラム。 基礎知識として主に下記項目を主な学習内容とする。 ・具体的な年間行事を知り、会員数や行事を先読みして企画する力を身につける。 ・顧客情報から得られる具体的な数字を把握し分析力を身に付ける。また、個人情報を保持し管理することの重要性を学ぶ。 ・サービス毎に発生する対象者の抽出に必要な条件算出を学習する。 ・アーティストとファンを繋ぐコンテンツを提供するための企画・制作に必要な基礎知識や実務を学習する。						
到達目標	・ファンクラブの業務を把握した上で、予算表を作成することができる。 ・ExcelとCSVのデータ変換ができる。継続年数、継続率の算出ができる。継続特典、FC先行券売の対象者抽出ができ、併せて新規入会者の追加データを作成することができる。 ・新規獲得や継続促進を前提とした券売スケジュールを組むことができる。 ・有客イベント現地のブースにて入会/継続受付の施策企画、運営に必要な準備ができる。						
評価方法と基準	授業毎のレポート/ワークシートによって成績を判定します。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	年間運営スケジュール 年間/毎月発生する業務の流れ	レポート
2		講義	運営に当たり必要な基盤（管理システム、WEB、特典ノベルティ等）について	レポート
3		講義・演習	運営基盤（2） 月毎に発生する業務の数量の算出、対象者抽出の考え方	ワークシート提出
4		講義・演習	収支の成り立ち ファンクラブの収支の成り立ち	ワークシート提出
5		演習	CSVとエクセルのデータ変換、文字情報のデータ変換、表データのグラフ化	ワークシート提出
6		講義	条件別対象者抽出（1） 特典対象者の条件だし及びデータ抽出	ワークシート提出
7		演習	条件別対象者抽出（2） 先行券売対象者の条件だし及びデータ抽出	ワークシート提出
8		演習	活動戦略（1） 過去の収支、今後の活動予定を元に今後の活動戦略をグループ討論	プレゼンテーション準備
9		演習	活動戦略（2） 活動戦略を予算書へ反映しプレゼンを行う	プレゼン資料提出
10		講義	会員増加を目的とした券売スケジュール組み及び対象者データの扱い、申込受付について	ワークシート提出
11		演習	アーティストの行動やリアクションの文章表現 特典ノベルティ制作（1）	ワークシート提出
12		講義	特典概要、グッズとの違い、規格について 特典ノベルティ制作（2）	レポート
13		講義・演習	部数の算出、制作スケジュール、アイテム企画	ワークシート提出
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			設定した目的と前週を振り返り、復習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
指定教科書なし。必要に応じて資料を配付する。				

科目名	ファンクラブビジネス (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	これまで数多くのアーティストマネージャーを務め、様々な現場でプロデューサー、舞台監督、デザイナーとして活躍するいくつもの顔を持っているマルチ業界人。						
授業の学習 内容	ファンクラブ、音楽業界の基礎知識を学び、実習を通して即戦力となる人材育成を行うカリキュラム。 基礎知識として主に下記項目を主な学習内容とする。 ・会報誌の企画～発送までの一連の業務に必要な基礎知識や実務を学習する。 ・ファンクラブコンテンツ提供に適した文章力を身に付ける。 ・有形特典の制作に必要な基礎知識や実務を学習する。 ・クローズドならではのイベントの考え方を知り、イベント企画、プロモーション、運営について学ぶ。 ・企画した内容を周囲により分かりやすく伝えるためのアウトプットする術を学習し身につける。						
到達目標	・会報誌の制作に必要な資料を準備し、発送完了までの段取りが組める。 ・コンテンツ企画書の作成、ライティングなどのコンテンツ制作ができる。 ・特典ノベルティとグッズの違いを述べることができ、特典ノベルティの企画～発送まで進行できる。 ・一般的なコンサート/ライブとファンクラブイベントの違いを述べることができ、アーティストの特徴を活かしたFCイベントの企画ができる。						
評価方法と基準	授業毎のレポート/ワークシートによって成績を判定します。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	会報誌制作 (1) 会報誌の概要、ディテール、台割作成	ワークシート提出	
2		講義・演習	会報誌制作 (2) 会報誌向けコンテンツの企画	ワークシート提出	
3		講義・演習	会報誌制作 (3) 製本について、校正の基本	ワークシート提出	
4		講義・演習	会報誌制作 (4) 発行部数、発送対象者、対象者へのフォローについて	ワークシート提出	
5		講義・演習	有客イベント時の会場施策 (1) イベント会場での会員増加機会を狙う施策について	ワークシート提出	
6		講義・演習	有客イベント時の会場施策 (2) イベント会場に設置するブース運営について	ワークシート提出	
7		講義・演習	有客イベント時の会場施策 (3) イベント会場内受付窓口の対応マニュアルの作成について	ワークシート提出	
8		講義・演習	有客イベント時のコンテンツ企画制作 (1) WEBサイト上に展開する有客イベントのコンテンツを企画する	ワークシート提出	
9		講義・演習	有客イベント時のコンテンツ企画制作 (2) WEBサイト上に展開する有客イベントのコンテンツの制作について	ワークシート提出	
10		講義・演習	FCイベント企画 (1) 一般集客イベントとの違い、イベント内容の企画	ワークシート提出	
11		講義・演習	FCイベント企画 (2) 宣伝及び券売について	ワークシート提出	
12		講義・演習	FCイベント企画 (3) 入場者の本人確認及び当選データの取り扱い	ワークシート提出	
13		講義・演習	FCイベント企画 (4) 会員認証マニュアルの作成	ワークシート提出	
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	K-POP ビジネス(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	片桐豊
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大手芸能事務所トップコートで長年にわたり新人発掘を担当したスペシャリストで俳優・松坂桃李などを発掘。						
授業の学習 内容	K-POPビジネス及びファンクラブ、音楽業界の基礎知識を学び、実習を通して即戦力となる人材育成を行うカリキュラム。						
到達目標	ファンクラブのビジネス構造を述べることができる。 Excelを使用したユーザー分析ができ、会員数増減の仮説をたてることができる。						
評価方法と基準	授業中や出されるレポート/ワークシートによって成績を判定します。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ガイダンス	アンケート提出
2		講義	K-POP業界の基本構造と特徴（１）	ワークシート提出
3		講義	K-POP業界の基本構造と特徴（２）	ワークシート提出
4		講義・演習	アーティスト研究（１）	プレゼン準備
5		講義・演習	アーティスト研究（２）	プレゼン準備
6		講義・演習	アーティスト研究（３）	ワークシート提出
7		講義	ファンクラブの基本構造（１）	レポート
8		講義	ファンクラブの基本構造（２）	レポート
9		講義	ファンクラブの基本構造（３）	レポート
10		講義・演習	ユーザー分析（１）	ワークシート提出
11		講義・演習	ユーザー分析（２）	ワークシート提出
12		講義・演習	ユーザー新規獲得と継続維持（１）	プレゼン準備
13		講義・演習	ユーザー新規獲得と継続維持（２）	プレゼン準備
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP ビジネス(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	片桐豊
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大手芸能事務所トップコートで長年にわたり新人発掘を担当したスペシャリストで俳優・松坂桃李などを発掘。						
授業の学習 内容	K-POPビジネス及びファンクラブ、音楽業界の基礎知識を学び、実習を通して即戦力となる人材育成を行うカリキュラム。						
到達目標	新規獲得や継続促進の戦略をたてることができる。 コンテンツ提供を通して企画書を作成、ライティングなどのコンテンツ制作ができる。 情報によるトラブルを予想し未然に防ぐことができる、または解決方法を述べることができる。						
評価方法と基準	授業中や出されるレポート/ワークシートによって成績を判定します。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ファンクラブ研究（１）	プレゼン準備
2		講義・演習	ファンクラブ研究（２）	プレゼン準備
3		講義・演習	ファンクラブ研究（３）	ワークシート提出
4		講義・演習	ライティング（１）	ワークシート提出
5		演習	ライティング（２）	ワークシート提出
6		演習	ライティング（３）	レポート
7		講義・演習	アーティストプロモーション活動とFCの違いと共栄（１）	プレゼン準備
8		講義・演習	アーティストプロモーション活動とFCの違いと共栄（２）	レポート
9		講義	WEBサイトの構造	レポート
10		講義・演習	取材用企画書～実行するまでのアクション（１）	ワークシート提出
11		演習	取材用企画書～実行するまでのアクション（２）	ワークシート提出
12		講義・演習	撮影基本（１）	ワークシート提出
13		講義・演習	撮影基本（２）	ワークシート提出
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントプロデュース (7)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大手イベントのキョードーからライブ、コンサート制作の道に入り、テレビ番組関連のイベントも担当。 TOKYO IDOL FESTIVAL等の大型ライブイベント、「めざましライブ」「Mステスーパーライブ」や斉藤和義ら国内外アーティストのツアー制作。2014夏のお台場新大陸も担当。						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※レポート課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	はじめに ～ 企画って何？	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
2		講義	企画は誰の為 を理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
3		講義	会場について理解する	全国のホールを調査する
4		講義	5 W1Hを理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
5		講義	イベント本番の時間的流れを理解する	モデルタイムテーブルの作成し提出
6		講義	メディアとプロモーションを理解する	メディアネットアークの調査
7		講義	ホームページとSNSを理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
8		講義	マーケットについて知る	シンクタンクのレポートを確認する
9		講義	売れてる？ヒットチャートを理解する	ヒットチャート調査のリスト化
10		講義	スタッフについて知る	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
11		講義	集客するには（入場券とプレイガイド）を理解する	プレイガイドを研究しまとめたものを提出
12		講義	イベントのビジネスモデルを知る	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
13		講義	企画立案しプレゼンする	アーティスト活動調査
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT				

科目名	イベントプロデュース (8)	必修 選択	選択必修	年次	4	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大手イベントのキョードーからライブ、コンサート制作の道に入り、テレビ番組関連のイベントも担当。 TOKYO IDOL FESTIVAL 等の大型ライブイベント、「めざましライブ」「Mステスーパーライブ」や斉藤和義ら国内外アーティストのツアー制作。2014夏のお台場新大陸も担当。						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※レポート課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	企画項目を整理する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
2		講義	企画書作成の準備をする・1	アーティストを調査しレポートとして提出
3		講義	企画書作成の準備をする・2	夏フェスティバルを調査しレポートとして提出
4		講義	実在のイベントをモデルに企画書化する・1	イベントを調査しレポートとして提出
5		講義	実在のイベントをモデルに企画書化する・2	モデルタイムテーブルの作成
6		講義	会場設備理論（全国の会場を分析する）ホール編	全国のホールを調査してレポートとして提出
7		講義	会場設備理論（全国の会場を分析する）ライブハウス編	全国のライブハウスを調査してレポートとして提出
8		講義	会場設備理論（全国の会場を分析する）アリーナスタジアム編	全国のアリーナスタジアムを調査してレポートとして提出
9		講義	イベント企画の研究	オリンピックについて調査してレポートとして提出
10		講義	イベントと法規	消防申請について調査しレポートとして提出
11		講義	単体イベントとツアー	クリスマスツアーを調査しレポートとして提出
12		講義	ツアーの企画を立案する	交通インフラを調査してレポートとして提出する
13		講義	イベントのスタイルとビジネスモデル	ACPCの資料を検証しレポートとして提出
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT				

科目名	マネジメント(1)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	片桐豊
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大手芸能事務所トップコートで長年にわたり新人発掘を担当したスペシャリストで俳優・松坂桃李などを発掘。						
授業の学習 内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人で有り、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めたい。						
到達目標	☐タレントとマネージャー(事務所)の関係や仕事の内容など業界のことを知る ☐自分の強み、弱みを認識した上で将来について考えられるようになる ☐見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養う ☐自分の考えたことや想いを自分の言葉で伝えられるようになる ☐相手の気持ちやニーズを考えられるようになる						
評価方法と基準	☐筆記試験 0点～50点 …一般的な企業の人事評定項目の把握とその定義や着眼点について理解する。 (企業が従業員に求めることへの理解＝社会に出て働くための心構え準備) ☐総合的な授業態度 0点～50点 …出席率(目的を持って授業に出席する。気分で休まない。) …授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義	自己紹介現時点での将来目標を自分の言葉で、かつ人前で発表できる。	将来タレントをどのようにマネジメントしたいのかレポート記入し提出。	
2		講義	業界で働く上で必要な力を考えさせる自分で考える。想像力を養う。	自分の目標の整理を行い800字以内で記入し提出。	
3		講義	プロデューサーやディレクター、作家などの役割や感性を学ぶ。	1枚の紙で「天国」と「地獄」を表現し提出。	
4		講義	芸能プロダクションの役割とタレントとの関係性について学ぶ。	タレント契約書見本（専属・業務提携・新人養成）を確認し、気づいた点やこれからの課題を800字以内に記載し提出。	
5		講義	マネージャーの種類と具体的な仕事内容を知る。	自分の好きなタレントの周りのマネージャーを調べて資料を提出。	
6		講義	好きなモノを語る力を付ける。好きなタレントについて語ることができる。	3分間で好きなタレントを理由・魅力などを他者にアピールするプレゼンテーションの資料を作成、準備する。	
7		講義	音事協・音制連等の存在と事務所にはどんなところがあるか知る。	自分が就職したい事務所を調べて概要を提出する。	
8		講義	オーディション採用側が何を見ているかを知る。	自分が就職したい事務所のスタッフ募集要項を調べて提出する。	
9		講義	適正診断による性格把握と分析から自分の強み・弱みを把握する。	事前に配布する適性診断を受ける	
10		講義	自己分析を踏まえ未来像を語り想像する力と伝える力を身につける。	10年後どうなっていたいか、所定のレポート用紙に記入し提出。	
11		講義	興味外の事を語り、感じたことを言葉にする力を身につける。	美輪明宏「愛の讃歌」の映像を見て感想を800字以内で記入し提出。	
12		講義	人事評定項目から経営側のニーズを知る。	人事評定項目から自分がアピール出来ることを考察し800字以内で提出。	
13		試験	人事評定の項目とその意味をきちんと理解・認識できているか。復習	前週に配布した人事評定表を復習しておく。	
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】					
実際のタレント契約書・芸能界ベストセクション・演技テキスト・ドラマ台本など					

科目名	マネジメント(2)	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	片桐豊
学科・専攻	スーパーeエンターテイメント科 昼間部二	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大手芸能事務所トップコートで長年にわたり新人発掘を担当したスペシャリストで俳優・松坂桃李などを発掘。						
授業の学習 内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。タレントも人であり、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めたい。						
到達目標	☐タレントとマネージャー(事務所)の関係や仕事の内容など業界のことを知る ☐自分の強み、弱みを認識した上で将来について考えられるようになる ☐見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養う ☐自分の考えたことや想いを自分の言葉で伝えられるようになる ☐相手の気持ちやニーズを考えられるようになる						
評価方法と基準	☐筆記試験 0点～50点 …一般的な企業の人事評価項目の把握とその定義や着眼点について理解する。 (企業が従業員に求めることへの理解＝社会に出て働くための心構え準備) ☐総合的な授業態度 0点～50点 …出席率(目的を持って授業に出席する。気分で休まない。) …授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義	活躍している芸能人の行動から学ぶ社会で好まれる資質を知る①	松坂桃李・堺正人・山寺宏一らのエピソードを受けて感想レポートを800字以内で提出する。	
2		講義	活躍している芸能人の行動から学ぶ社会で好まれる資質を知る②	TAKAHIRO氏のチャレンジのエピソードを受けての感想レポートを800字以内で提出する。	
3		講義	俳優の仕事や気持ちを理解するため簡単なテキストで演技体験をする	事前に配布するA4 1 枚の会話台本を覚えてくる。	
4		講義	同じセリフを深く追求することでタレントや俳優に求められる役割を知る。	事前に配布する独白セリフの登場人物の性格を分析した資料を提出する。	
5		講義	企業のニーズを理解した上で、目指す企業に合わせた自己PRができるようになる	就活を想定した自己PRを考察し、提出する。	
6		講義	企業のニーズを理解した上で、目指す企業に合わせた自己PRができるようになる	就活を想定した自己PRを考えて提出する。	
7		講義	ファンクラブについての講義①	自分な好きなタレントらのファンイベントの例を調べて提出する。	
8		講義	ファンイベントの企画を理解する ファンクラブについての講義②	自分の好きなタレントらのグッズの例を調べて提出する。	
9		講義	応援グッズ販売から見る音楽ビジネス	本日の授業を終えた上で、タレントクラス表を作成し、提出する。	
10		講義	これから売れる（人気者になる）と思うタレントを予想・プレゼンする①	これから売れると思うタレント候補とその根拠を調べて提出する。	
11		講義	これから売れる（人気者になる）と思うタレントを予想・プレゼンする①	これから売れると思うタレント候補とその根拠を調べて提出する。	
12		講義	とあるディズニーダンサーのエピソードから、エンターテインメント業界で働くことの心構えを再認識	本日の講義を終え、800字以内で感想レポートを提出する。	
13		試験	前期・後期を踏まえた上での筆記試験を実施	出来なかった部分や分からなかった部分を訂正して提出する。	
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】					
実際のタレント契約書・芸能界ベストセレクション・演技テキスト・ドラマ台本など					

科目名	イベント制作運営演習(1)	必修 選択	選択	年次	1,2,3,4	担当教員	唐澤淳
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二						
教員の略歴	これまで数多くのアーティストマネージャーを務め、様々な現場でプロデューサー、舞台監督、デザイナーとして活躍するいくつかの顔を持っているマルチ業界人。						
授業の学習 内容	江戸川文化センターで行われる骨髄移植推進キャンペーンミュージカル「明日への扉」の公演を教材にイベントスタッフとして必要な運営・制作の知識を実践的に学ぶ。 実践で行うことにより、舞台を創る流れや細かな段取りを学びながら業界に必要な人材として成長していく。						
到達目標	運営・制作の流れが理解出来る。 公演の際にスタッフの一員として参加出来る。						
評価方法と基準	授業の中でのレポート提出 30% 「明日への扉」に関しての積極的な発言や態度。関わりや、本番日の行動力、スタッフの一員として成り立っているか。 それぞれに与えられた担当のなかで仕事を全うしているかを評価 70%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		演習	「明日への扉」の内容について触れ、本公演を開催する意義を理解する	骨髄移植を推進するプロモーションをレポート用紙にて提出する	
2		演習	運営のセクションの流れと段取りを学ぶ	運営とはどのような役割かをレポートにまとめ提出	
3		演習	制作のセクションの流れと段取りを学ぶ	制作とはどのような役割かをレポートにまとめ提出	
4		演習	その他のセクション（PA・照明・舞台・衣装管理・メイク）の流れと段取りを学ぶ	昨年のマニュアルを参考にに関わり時期を調べておく	
5		演習	運営スタッフ・制作スタッフ共通して使用する機材や備品の使い方について学ぶ	昨年のマニュアルを参考に実際に使用していた時期を調べておく	
6		演習	各希望セクションに分かれ、運営：公演概要と運営方法を学ぶ 制作：稽古スケジュールを基に稽古期間の流れや段取りを学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出	
7		演習	運営：チケット発売方法と管理方法を学ぶ 制作：台本の使い方を学ぶ・稽古会場の仕込みを学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出	
8		演習	運営：協賛の必要性を学び協力をお願いする 制作：制作スケジュールの作成・各セクション香盤表	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出	
9		演習	運営：ホールRHに伴う会場下見、必要備品の準備・調達 制作：ホールRHに伴う会場下見・使用会場の申請・楽屋振り分け	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出	
10		演習	運営：運営方法を学びマニュアルを作成する	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出	
11		演習	制作：搬入・搬出方法を学ぶ・機材管理を学ぶ 運営：運営マニュアル読み合わせ 制作：各セクションへの伝達事項を学び実践する	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出	
12		演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む	
13		演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む	
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。		
【使用教科書・教材・参考書】					
昨年度「明日への扉」公演マニュアル・概要書・終了報告書・今年度「明日への扉」台本					

科目名	イベント制作運営演習(2)	必修 選択	選択	年次	1,2,3,4	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	スーパーeエンターテインメント科 昼間部二	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	これまで数多くのアーティストマネージャーを務め、様々な現場でプロデューサー、舞台監督、デザイナーとして活躍するいくつもの顔を持っているマルチ業界人。						
授業の学習 内容	卒業・進級制作展weareTSM！TSM渋谷！DA TOKYO！の公演を教材にイベントスタッフとして必要な運営・制作の知識を実践的に学ぶ。 実践で行うことにより、コンサートを創る流れや細かな段取りを学びながら業界に必要な人材として成長していく。						
到達目標	運営・制作の流れが理解出来る。 公演の際にスタッフの一員として参加出来る。						
評価方法と基準	授業の中でのレポート提出 30% 「卒業・進級制作展weareTSM！TSM渋谷！DA TOKYO！」に関する積極的な発言や態度。関わりや、本番日の行動力、スタッフの一員として成り立っているか。 それぞれに与えられた担当のなかで仕事を全うしているかを評価 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	卒業・進級制作展の内容について触れ、本公演を開催する意義を理解する	コンセプトの元公演演出の考案レポートを提出
2		演習	運営のセクションの流れと段取りを学ぶ	運営とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
3		演習	制作のセクションの流れと段取りを学ぶ	制作とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
4		演習	その他のセクション（PA・照明・舞台・衣装管理・メイク）の流れと段取りを学ぶ	昨年のマニュアルを参考にに関わり時期を調べておく
5		演習	運営スタッフ・制作スタッフ共通して使用する機材や備品の使い方について学ぶ	昨年のマニュアルを参考に実際に使用していた時期を調べておく
6		演習	各希望セクションに分かれ、運営：公演概要とコンセプト内容を学ぶ 制作：公演の流れを理解し稽古スケジュールを組む	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
7		演習	運営：座席管理方法を学ぶ 制作：公演演出の流れを理解し機材の管理を行う	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
8		演習	運営：運営マニュアルの作成方法を学び作成する 制作：制作スケジュールの作成・各セクション音盤表を作成	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
9		演習	運営：ホールRHに伴う会場下見、必要備品の準備・調達 制作：ホールRHに伴う会場下見・使用会場の申請・楽屋振り分け	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
10		演習	運営：運営方法を学び作成する 制作：搬入・搬出方法を学ぶ・機材管理を学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
11		演習	運営：運営マニュアルの読み合わせ 制作：各セクションへの伝達事項を学び実践する	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
12		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
13		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
14		実習	運営・制作共に終了報告書の作成方法を学び、作成する	授業に引き続き作成し提出
15		実習	各セクションごとに終了報告会を開催する	実践的に各セクションに取り組む
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度「卒業・進級制作展weareTSM！TSM渋谷！DA TOKYO！」公演マニュアル・概要書・終了報告書				